



埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 報

第731号

令和6年9月20日編集

発行所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電話 048(645)1906
FAX 048(648)1865
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : <https://www.saitama-vma.org/>
振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 中村 滋

編集責任者 高橋 一成

印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

令和6年度関東・東京合同地区獣医師大会(群馬)、獣医学術関東・東京合同地区学会の開催……………1

新入会員報告
新入会員紹介……………6

予告
北支部・関東しゃくなげ会合同研修会のお知らせ……………7
千葉県獣医師会第1回学術セミナー開催のお知らせ……………8

ひろば
令和6年度関東・東京合同地区獣医師会親善チャリティーゴルフコンペ参加報告……………9

お知らせ

日本獣医師会からのお知らせ……………10

埼玉県獣医師会学術広報版……………12

事務局より

事務局メモ……………13

編集後記……………16

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めま

す。

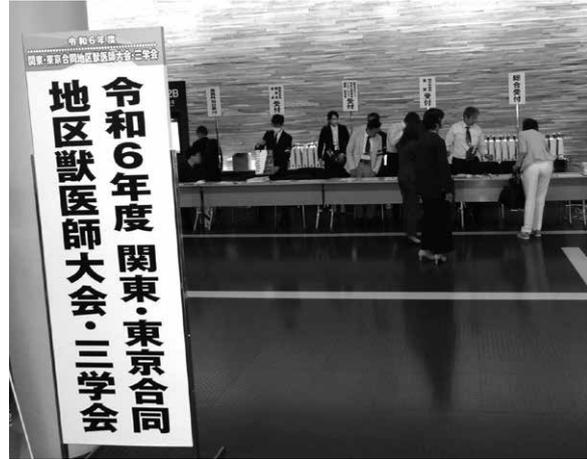
わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

令和6年度 関東・東京合同地区獣医師大会（群馬） 獣医学術関東・東京合同地区学会

令和6年9月1日(日)、群馬県高崎市の「Gメッセ群馬」において令和6年度関東・東京合同地区獣医師大会・三学会が盛大に開催されました。

会場には約500名の関東・東京地区獣医師会関係者や一般参加者が集い、地区獣医師大会、獣医学術発表会、市民公開講座、動物用医薬品・機器等の展示が行われました。



会場となったGメッセ群馬

令和6年度関東・東京合同地区獣医師大会

地区獣医師大会は、午後1時から2階の「メインホールA」において開催されました。

物故会員に対する黙祷、「獣医師の誓い-95年宣言」の朗読の後、桑原保光大会会長(群馬県獣医師会会長)から歓迎と御礼の挨拶があり、その後、表彰式に移り、獣医事功績者表彰50名が表彰され、本県からは、次の7名の皆様が獣医事功績者表彰受賞の栄に輝かれました。今後とも益々の御活躍を御祈念申し上げます。

坂井桃代先生(さいたま市支部)、田中裕先生(南支部)、田淵淳先生(西支部)、柿沼清市先生(北支部)、佐久間昭仁先生(東支部)、吉永光宏先生(衛生支部)、田中哲也先生(農林支部)



大会会長挨拶
桑原保光大会会長(群馬県獣医師会会長)



受賞された会員の先生方
左から 坂井桃代先生(さいたま市支部)、佐久間昭仁先生(東支部)、中村滋会長、田淵淳先生(西支部)、柿沼清市先生(北支部)、吉永光宏先生(衛生支部)

御来賓の祝辞に続いて、議長に桑原保光大会会長を選出し、議事に入りました。昨年度の大会を担当した埼玉県獣医師会の中村滋会長が令和5年度事業についての経過を報告した後、第1号から第6号の議案が一括上程され、全ての議案が原案のとおり決議されました。引き続き大会宣言が採択されるとともに、大会スローガンとしてその早期実現に会員が邁進していくことを誓い合いました。

終わりにあたり、来年度の開催を担当する山梨県獣医師会の笠松豊乗会長が挨拶に立ち、多数の参加を呼び掛け、大会は午後2時に閉会となりました。

令和6年度関東・東京合同地区獣医師大会宣言

- 1 One Health(ヒトと動物の健康と環境保全の重要性)の理念のさらなる推進を図る
- 2 いつでも人と動物が共生できる社会に向けて～心のバリアフリー～を築いていく
- 3 災害時におけるペット同伴避難場所を確保する
- 4 社会のニーズに応え得る「良質かつ高度な獣医療供給体制」を確立する
- 5 狂犬病予防接種の重要性を広く啓発し、予防対策を推進する
- 6 海外悪性伝染病におけるワクチンの早期実用化を図る

令和6年度関東・東京合同地区獣医師大会スローガン

- 1 One Health(ヒトと動物の健康と環境保全の重要性)の理念のさらなる推進を図ろう
- 2 いつでも人と動物が共生できる社会に向けて～心のバリアフリー～を築いていこう
- 3 災害時におけるペット同伴避難場所を確保しよう
- 4 社会のニーズに応え得る「良質かつ高度な獣医療供給体制」を確立しよう
- 5 狂犬病予防接種の重要性を広く啓発し、予防対策を推進しよう
- 6 海外悪性伝染病におけるワクチンの早期実用化を図ろう

市民公開講座

市民公開講座は、午前10時から2階の「メインホールA」において開催されました。

演 題 「犬のしつけと社会化」～人と動物との共生社会実現へ向けて～

講 師 日本獣医生命科学大学 教授 水越美奈 先生

災害動物支援セクション

災害動物支援セクションは、午前10時から2階の「中会議室202B」において開催されました。

講演1 「能登半島地震災害活動の情勢について」

講 師 日本獣医師会 危機管理室危機管理統括補佐 平井潤子 先生

講演2 「日本獣医師会危機管理室立ち上げの経緯と将来像について」

講 師 日本獣医師会 危機管理室危機管理統括 佐伯 潤 先生

ランチョンセミナー

昼食時間を利用して、産業動物獣医学会の会場において、ランチョンセミナーが開催されました。

演 題 「牛ウイルス性下痢がもたらす経済損失」

講 師 ベーリンガーインゲルハイムアニマルヘルスジャパン(株) 小野山一郎 先生

令和6年度獣医学術関東・東京合同地区学会

日本産業動物獣医学会、日本小動物獣医学会、日本獣医公衆衛生学会の関東・東京合同地区学会は、学会ごとの会場(小動物獣医学会はA・Bの2会場)に分かれて午前10時から学術発表が行われました。

各会場では地区学会長の挨拶の後、昼食と獣医師大会を挟み、午後4時5分まで74題の研究発表が行われ、本県からは産業動物獣医学会3題、小動物獣医学会6題、獣医公衆衛生学会1題の計10題が発表されました。(別掲)

審査員や座長を務められた地区学会幹事の先生方

産業動物獣医学会



福田昌治先生
(農林支部)
座長

小動物獣医学会



小林孝之先生
(北支部)
審査員・座長

獣医公衆衛生学会



尾関由姫恵先生
(衛生支部)
審査員

令和6年度獣医学術関東・東京合同地区学会 発表演題

∞∞∞日本産業動物獣医学会(関東・東京)∞∞∞

猪熊壽地区学会長(東京大学教授)のもとで19題の発表がありました。

本県からの発表は次の3題でした。

演題名：牛伝染性リンパ腫抵抗性牛を活用した清浄化対策

発表者：押尾麻貴 先生(埼玉県熊谷家畜保健衛生所)

演題名：埼玉県で発生した高病原性鳥インフルエンザ4事例の防疫対応 ～通行規制及び消毒ポイントの課題と対応～

発表者：春山優唯 先生(埼玉県川越家畜保健衛生所)

演題名：豚凍結受精卵を用いた遺伝的希少品種の群再構築手法の開発

発表者：中村嘉之 先生(埼玉県農業技術研究センター)

∞∞∞日本小動物獣医学会(関東・東京)∞∞∞

原 康地区学会長(日本獣医生命科学大学教授)のもとで42題の発表がありました。

本県からの発表は次の6題でした。

演題名：肺リンパ腫様肉芽腫症と診断された犬の1例

発表者：中島ちひろ 先生(アニマルクリニックこばやし)

演題名：後腹膜腔に発生したパラガングリオーマの犬の1例

発表者：中村勇太 先生(アニマルクリニックこばやし)

演題名：繰り返す直腸脱により腸管穿孔および大網脱出を起こした猫の1例

発表者：鈴木亮祐 先生(アニマルクリニックこばやし)

演題名：頭蓋骨に発生した扁平上皮癌の1例

発表者：灰井康佑 先生(とがさき動物病院)

演題名：尺側手根屈筋に孤発したB細胞性高悪性度リンパ腫の猫の1例

発表者：鹿野恭平 先生(とがさき動物病院)

演題名：結膜に発生した犬の脂肪肉腫の1例
発表者：吉田梨乃 先生(とがさき動物病院)

∞∞∞日本小動物獣医学会(関東・東京)∞∞∞

丸山総一地区学会長(日本大学教授)のもとで13題の発表がありました。
本県からの発表は次の1題でした。

演題名：室内塵中ダニ4種の遺伝子学的検査手法の検討
発表者：儀同清香 先生(埼玉県衛生研究所)

発表された先生方



押尾麻貴先生
(農林支部)



春山優唯先生
(農林支部)



中村嘉之先生
(農林支部)



中島ちひろ先生
(団体支部)



中村勇太先生
(団体支部)



鈴木亮祐先生
(団体支部)



灰井康佑先生
(東支部)



鹿野恭平先生
(団体支部)



吉田梨乃先生
(団体支部)



儀同清香先生
(衛生支部)

地区学会優秀発表者表彰・交流会

午後5時15分から2階「メインホールA」において優秀発表者の表彰式が行われ、産業動物獣医学会において、中村嘉之先生(農林支部)が地区学会長賞、押尾麻貴先生(農林支部)が学術奨励賞を受賞しました。

表彰式終了後は交流会が開催され、関係者との交流を深めることができました。



受賞者を囲んで

左から 大橋邦啓副会長、押尾麻貴先生(学術奨励賞)、中村嘉之先生(地区学会長賞)、宗像俊太郎副会長、中村滋会長



後列左から 宗像俊太郎副会長、灰井康佑先生(発表者・東支部)、中村滋会長、吉永光宏先生(獣医事功績者・衛生支部)、福田昌治先生(産業動物獣医学会幹事・農林支部)、猪熊壽先生(産業動物獣医学会地区学会長・東京大学教授)、柿沼清市先生(獣医事功績者・北支部)、大橋邦啓副会長、境政人先生(前日本獣医師会専務理事・団体支部)、林繁雄理事(農林支部)

前列左から 大澤玲先生(農林支部)、中村嘉之先生(発表者・農林支部)、儀同清香先生(発表者・衛生支部)、尾関由姫恵先生(獣医公衆衛生学会幹事・衛生支部)

なお、来年1月24日(金)から26日(日)には宮城県仙台市「仙台国際センター」において日本獣医師会獣医学術学会年次大会が開催されますので、多くの皆様の御参加をお待ちしております。

令和6年度関東・東京合同地区獣医師大会、獣医学術合同地区学会の参加者(埼玉県獣医師会)

支部名	開業支部	衛生支部	農林支部	団体支部	事務局	合計
参加者数	19人	3人	13人	7人	2人	44人

新入会員報告

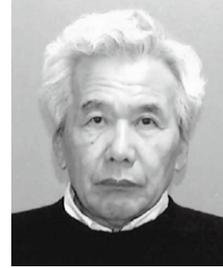
新入会員紹介



さかい まさと
境 政人
団体支部



よしい りか
吉井 里花
団体支部



なかがわ みつひで
中川 巳津英
団体支部

勤務部会

支部名	氏名	勤務先
団体	境 政人	前日本獣医師会専務理事
団体	吉井 里花	加須市・高橋動物病院
団体	中川 巳津英	本庄市・大橋獣医科医院

広告

人が食べるものと同じだけ安全で
美味しいものを愛犬にも与えたい。

ドクタークレド

Dr. CREDO

胃腸と皮膚が気になる

成犬用 総合栄養食

No.1

血流と健康が気になる

中・高齢犬用 総合栄養食

No.2

体重と健康が気になる

成犬用 総合栄養食

No.3



美味しさに
自信

ドクターイデア

Dr. IDEA

こだわりの国産品。

いつでも新鮮! 小分けパック。

下部尿路に

No.1

体重管理に

No.2

7歳から

No.3

愛犬・愛猫のトータルサポートフード

着色料不使用

自然派由来の酸化防止剤



森久保CAメディカル株式会社

神奈川：046-206-5713
三郷：048-948-2112

山梨：055-287-8622
茨城：0296-54-6101

東京：042-564-2381
千葉：043-309-5430

埼玉：04-2968-0881

予 告

北支部・しゃくなげ会合同研修会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 産1(8)・産2(1)⑩)

北支部長 山口 達也
 北支部学術(産業動物担当)副委員 柿沼 清市
 しゃくなげ会埼玉県支部長 大倉 一展

北支部・しゃくなげ会埼玉県支部では、宮崎大学獣医学科産業動物内科学教授の佐藤礼一郎先生をお招きして合同学術研修会を開催いたします。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日 時：令和6年10月23日(水)
 14：30～16：30

場 所：埼玉県熊谷家畜保健衛生所 講堂
 熊谷市円光1-8-30
 TEL 048-521-1274

演 題：①スイス、ヨーロッパの酪農、畜産、家畜の診療
 ②我が国におけるAMR(薬剤耐性)対策および診療の現状と正しい薬の使い方

講 師：宮崎大学教授、ベルン大学客員教授
 佐藤礼一郎 先生

参加費：埼玉県獣医師会、しゃくなげ会会員 無料
 会員以外の受講者 3,000円

広告



Vet Life

原材料と嗜好性にこだわった
 イタリア生まれの療法食「ファルミナ ベットライフ」



種類豊富な療法食、「ファルミナ ベットライフ」ラインナップ



犬用製品

	ドライ	ウェット
回復期ケア		
消化器ケア		
消化器ケア-子犬用		
肝臓ケア		
皮膚ケア-低アレルギー(ポーク&ポテト)		
皮膚ケア-低アレルギー(ニシン&ポテト)		
皮膚ケア-低アレルギー(フィッシュ&ポテト)		
皮膚ケア-低アレルギー(ダック&ポテト)		
皮膚ケア-加水分解フード		
尿路ケアS		
尿路ケアS/O		
尿路ケアO		
腎臓ケア		
関節ケア		
体重ケア		
糖質ケア		



猫用製品

	ドライ	ウェット
回復期ケア		
消化器ケア		
消化器ケア-高繊維		
肝臓ケア		
皮膚ケア-低アレルギー(ポーク&ポテト)		
皮膚ケア-加水分解フード		
尿路ケアS		
尿路ケアS/O		
腎臓ケア		
体重ケア		
糖質ケア		

輸入業者
ファルミナペットフーズ・ジャパン株式会社
 東京都品川区北品川5-12-4 リードシー御殿山4階

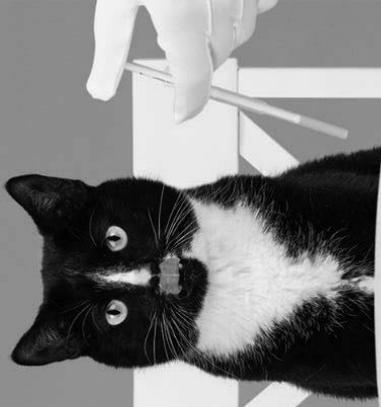
販売業者
 **日本全薬工業株式会社**
 ZENOAQ 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

新発売

動物用糖尿病治療薬

センベルゴ® 15 mg/mL

動物用医薬品 | 獣用医薬品 | 指定医薬品



猫の糖尿病治療に

新たな選択肢が登場

センベルゴ®は、
世界初のナトリウム-グルコース
共輸送体 (SGLT) 2 阻害を作用機序とする、
1日1回経口投与の液剤です。

千葉県獣医師会センベルゴ発売記念セミナー

演題名 SGLT2 阻害薬はゲームチェンジャーとなりうるのか

講師

日本獣医生命科学大学
獣医学部獣医保健看護
学科学臨床部門 准教授

森昭博先生



開催日時

10/20 日

15:00 - 17:30

会場

TKPガーデンシティ千葉
千葉県千葉市中央区問屋町1-45
千葉ポータススクエア内



Boehringer ベーリンガー・インゲルヘルム
Ingelheim アーメルヘルスジャパン(株)



お申し込み方法



(1) 左記二次元コードより必要事項をお申込みフォーム
にご入力ください。

※複数名ご参加の際は、1名様ずつご入力をお願いします

※ 個人情報取り扱いについて

[利用目的]ご提供いただいた個人情報は、本セミナーの参加に関するお申込受付、
ご案内・連絡、お問合せ対応の目的で利用します

● 千葉ポータススクエア (会場施設) 駐車場のご利用の際は、駐車券を会場までお持ちください。

会場周辺地図



電車でお越しの方へ

JR京葉線 千葉みなと駅 幸町・千葉港・問屋町方面出口 徒歩
11分

JR総武線 千葉駅 東口 車10分

J R 総武線 千葉駅 東口 バス10分

千葉モラル1号線 市役所前(千葉県)駅 出入口1 徒歩7分

京成千葉線 千葉中央駅 西口 徒歩9分

ひろば

令和6年度関東・東京合同地区獣医師会 親善チャリティーゴルフコンペ参加報告

(公社)埼玉県獣医師会ゴルフ同好会会長 長谷川繁雄
さいたま市支部 小堺 正人

去る9月1日、群馬県獣医師会主催により令和6年度関東・東京合同地区獣医師大会・三学会が群馬県高崎市のGメッセ群馬に於いて盛大に開催されました。その翌日9月2日に同じく群馬県獣医師会主催により群馬県富岡市の倶楽部我山に於いて令和6年度親善チャリティーゴルフコンペが開催されました。当日はノロノロ台風10号の影響が懸念されたものの、安定した天候の下プレーを行うことができました。

今年度埼玉県は団体戦では第4位でした。(豊泉正重先生(西支部)80、小堺正人(さいたま市支部)81、山田和男先生(北支部)81、森田良先生(東支部)84、合計326ストローク)

個人部門では田口修先生(東支部)、長谷川繁雄先生(東支部)、清水章先生(北支部)が飛び賞を獲得しました。

表彰式・懇親会終了後、来年開催予定の山梨県大会に向けさらに精進していくことを祈念し参加者全員で記念写真を撮影し、解散となりました。

埼玉県獣医師会ゴルフ同好会では、随時プレー仲間を歓迎いたします。エンジョイゴルフで一緒に楽しみませんか?ご希望の方は本会事務局までご連絡ください。



前列左から 清水章先生(北支部)、長谷川繁雄先生(東支部)、小堺正人先生(さいたま市支部)
後列左から 宗像俊太郎副会長、豊泉正重先生(西支部)、山田和男先生(北支部)、大野秀樹先生(北支部)、
森田良先生(東支部)、田口修先生(東支部)

お知らせ

事務連絡
令和6年9月3日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
専務理事 伏見 啓二

ダニ媒介脳炎に関するリスクアセスメントについて（情報提供）

このたび、令和6年8月30日付け事務連絡により厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課から本会あてに情報提供がありましたのでお知らせします。

このたびの通知は、国立感染症研究所から、ダニ媒介脳炎のリスクアセスメントが公開されたことについて、会員への周知を求められたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方お願いいたします。

事務連絡
令和6年8月30日

公益社団法人 日本獣医師会 御中

厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課

ダニ媒介脳炎に関するリスクアセスメントについて（情報提供）

今般、国立感染症研究所において、下記のとおり、ダニ媒介脳炎のリスクアセスメントが公開されましたのでお知らせします。本件について、貴会会員への周知方よろしく申し上げます。

記

国立感染症研究所「国内外におけるダニ媒介脳炎の発生状況について」

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/tick-encephalitis-m/2661-cepr/12805-tbe-ra-2408.html>

6日獣発第197号
令和6年9月12日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内勇夫
(公印及び契印の押印は省略)

「動物の命を考える専門家意識調査」へのご協力をお願い

本会の職域別部会のひとつである動物福祉・愛護部会の常設委員会として設置されている動物福祉・愛護委員会（委員長：佐伯潤理事）においては、動物愛護管理法に係る事項を中心とする動物福祉・愛護をめぐる課題について検討を進めているところです。

今般、当該委員会委員である打越綾子成城大学法学部教授から、別紙のとおり標記の調査協力依頼があり、委員会において検討の結果、意義ある調査であるとの結論を得ました。

ついては、本会としてこの調査に協力することとしましたので、貴会会員への周知・協力方、よろしくお願いいたします。

なお、この度の調査は、動物の致死処置について、巷間議論しにくい風潮があることを踏まえ、専門家の認識と一般市民の認識の共通点と相違点を分析することにより、多面的・学際的なサイエンスコミュニケーションを図ることを目的とするものです。

つきましては、当調査が専門家と一般市民との比較を目的としていることに十分ご留意いただき、会員獣医師以外への調査実施情報の提供はしないようお願いいたします。

調査 URL : <https://www.net-research.jp/1242328/>



令和6年度埼玉県獣医師会学術広報版

(令和6年9月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
4月			
5月			
6月			
7月28日(日)		さいたま市 「学校飼育動物におけるウサギの診療」 日本エキゾチック動物医療センター 三輪恭嗣 先生 (さいたま市 With Youさいたま)	
8月16日(金)		南支部 「猫の呼吸器疾患」 日本獣医生命科学大学 藤原亜紀 先生 【Zoomにて開催】	
9月1日(日)	令和6年度 関東・東京合同地区獣医師大会(群馬) 獣医学術関東・東京合同地区学会 (高崎市 Gメッセ群馬)		
10月23日(水)	北支部 「スイス、ヨーロッパの酪農、 畜産、家畜の診療」 「我が国におけるAMR(薬剤 耐性)対策および診療の現状 と正しい薬の使い方」 宮崎大学 佐藤礼一郎 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)		
11月			
12月			
令和7年 1月24日(金) ~1月26日(日)	令和6年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (仙台市 仙台国際センター)		
1月26日(日)		さいたま市 「学校飼育動物におけるウサギの診療2」 日本エキゾチック動物医療センター 三輪恭嗣 先生 (さいたま市 With Youさいたま)	
1月	農林支部 令和6年度埼玉県家畜保健衛 生業績発表会 (場所 未定)		
2月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
3月			

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vm.org/>
ID: SVMA (半角・大文字) パスワード: MITSUO (半角・大文字)

令和6年

- 8月16日 埼玉県獣医師会学術講習会・南支部担当
(Zoom形式)
- 9月1日 令和6年度関東・東京合同地区獣医師大会
(群馬)・三学会(群馬県高崎市 Gメッセ群馬)
- 9月20日 全国獣医師会会長会議(東京都港区 明治記念館)
- 9月20日 日本獣医師会藏内勇夫会長の世界獣医師会次期会長就任祝賀会(東京都港区 明治記念館)
- 9月21日 2024動物感謝デー in Japan(東京都世田谷区 駒沢オリンピック公園)
- 10月12日 彩の国さいたま動物愛護フェスティバル
(加須市 パストラルかぞ)
- 10月14日 第51回ソフトボール大会(さいたま市 大宮けんぽグラウンド)
- 10月16日 第2回獣医事調査委員会(さいたま市 レイボックホール)
- 10月23日 北支部・しゃくなげ会合同研修会(熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)
- 10月24日 第3回理事会(さいたま市 埼玉県農業共済会館)
- 11月1日 第1回畜産懇話会(さいたま市 別所沼会館)

令和7年

- 1月12日 南支部新年会(場所未定)
- 1月19日 西支部新年会(場所未定)
- 1月24日 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(宮城
~26日 城県仙台市 仙台国際センター)
- 1月26日 埼玉県獣医師会学術講習会・さいたま市
支部担当(さいたま市 With Youさいたま)
- 1月26日 さいたま支部新年会(さいたま市 ホテル
ブルブランテ武蔵野)
- 1月26日 東支部新年会(場所未定)
- 2月2日 北支部新年会(場所未定)
- 2月16日 第3回関東・東京合同地区理事会(群馬
県高崎市 エテルナ高崎)
- 3月9日 東支部旅行(場所未定)
~10日
- 5月18日 南支部総会(場所未定)

広告



こわい狂犬病から
ほくを守ってね

毎年1回の狂犬病予防注射を忘れずに!



研究開発元 一般財団法人 松岡科学研究所
製造販売元 松研薬品工業株式会社

〒184-0003 東京都小金井市緑町5丁目19番21号
TEL: (042) 381-0075 FAX: (042) 381-0344
URL: <http://www.matsuken-yakuhin.com>
E-mail: daihyo@matsuken-yakuhin.com

■ 松研狂犬病 TC ワクチン

劇 要指示 指定

松研の動物用生物学的製剤

豚用ワクチン

- 豚熱生ウイルス乾燥予防液
(豚コレラ生ウイルス乾燥予防液)
- 松研豚丹毒生ワクチン
- ポーシリス APP-N
- ポーシリス ERY
- ポーシリス STREPSUIS
- ポーシリス Begonia DF・10
- ポーシリス Begonia DF・50

水産用ワクチン

- Mバック レンサ
- Mバックイニエ
- 松研Mバック IPレンサ

家畜用抗毒素

- 破傷風血清

広告

68年の歴史を持つ動物の総合専門学校

～1956年創業 犬のお店「青山ケンネル」から続く歴史～

国際動物専門学校 (IAC東京校)

- 愛玩動物看護学科(3年制)
- 美容・デザイン学科(2年制)
- 自然環境・動物飼育学科(2年制)
- ドッグスペシャリスト学科(2年制)

大宮国際動物専門学校 (IAC大宮校)

- 愛玩動物看護学科(3年制)
- 美容・デザイン学科(2年制)
- 美容・スモールペット学科(2年制)
- 自然環境・動物飼育学科(2年制)
※学科名変更申請中
- ドッグスペシャリスト学科(2年制)



学校法人 シモゾノ学園
国際動物専門学校
大宮国際動物専門学校

2023年度 第2回愛玩動物看護師国家試験

両校 愛玩動物看護学科

116名卒業 114名受験 95名合格

合格率 83.3%



求人票の送付・お問い合わせはこちら

求人票は下記HPよりダウンロードできます!

シモゾノ学園HP: <https://www.iac.ac.jp> (両校データは同じです)

【国際動物専門学校】

〒154-0011 東京都世田谷区上馬
4-3-2

TEL: 03-5430-4400(就職サポート室)
MAIL: shushoku@iac.ac.jp

【大宮国際動物専門学校】

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町
2-289-2

TEL: 048-648-8400(就職サポート室)
MAIL: omiya-shushoku@iac.ac.jp

動物用糖尿病治療薬

センベルゴ® 15 mg/mL

動物用医薬品 要指示医薬品 指定医薬品

新発売

1日1回投与の経口服液剤、 猫の糖尿病治療薬



- 世界初、猫用SGLT2阻害薬の液剤
- 初回投与から1週間以内にほとんどの猫で血糖値を安定してコントロールできた※
※有効性に関しては投与後30日時点で評価
- 臨床試験では臨床症状を伴う低血糖は認められなかった
国内承認申請資料より



1ボトルで3ヶ月分

もっと詳しく知りたい方は ▶



Boehringer
Ingelheim

ベリンガーインゲルハイム
アニマルヘルス ジャパン(株)



編集後記

去る9月20日に日本獣医師会会長の藏内勇夫先生の世界獣医師会次期会長就任祝賀会が開催されました。藏内先生は長年に亘るワンヘルスへの取り組みが世界的に評価され、日本人として初めて世界獣医師会の次期会長に選出されました。2年後には会長に就任されることになっています。

我が国では9月に入っても全国各地で猛暑が続いていますが、これは環境破壊により地球が不健康になっていることが原因と思われます。地球の環境破壊という観点からもワンヘルスの概念は今後さらに重要になると思われますので、ここで再度ワンヘルスについて考えてみたいと思います。

ワンヘルス(One Health)とは「人の健康」、「動物の健康」、「環境の健全性」を一つの健康と捉え、一体的に守っていくという考え方です。私たちが健康に暮らしていくためには地球に暮らす動物、そして地球自身も健康である必要があります。この考え方は、世界的に広がってきており、具体的には、森林破壊や気候変動などが引き金となって発生する人獣共通感染症や抗菌薬の不適切な使用による薬剤耐性菌の出現に関し、ワンヘルス・アプローチに基づいて取り組んでいくことが、G7サミットや生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)などの国際間の枠組みで合意されています。そしてワンヘルスには以下6つの基本方針があります。

①「人と動物の共通感染症対策として、医療と獣医療をはじめ各分野と連携し、発生予防、まん延防止を図ること」いまや新型コロナウイルス感染症(COVID-19)をはじめとして世界中から注目を集める分野になりました。

②「薬剤耐性菌対策として薬剤の適正使用を推進すること」抗菌薬の過剰・不適切な使用により、薬剤耐性菌による感染症の治療はとて難に

なります。また薬剤耐性菌は国境を越えて増加しており、すぐにでも世界的な協力による薬剤の適正使用が必要な段階です。

③「健全な自然環境を保ち、多様な生物のすみ分けを保つこと」近年のグローバル化や大量の消費・生産活動は、人類や動物にとって貴重な存在である森林の過剰伐採をはじめ、生態系を破壊し、気候変動の一因となっています。地球の温暖化は熱中症のリスクを高めるだけでなく、豪雨や台風、山火事といった様々な災害の原因となり、人だけではなく、動物や植物にも大きな災いをもたらしています。また大規模な森林伐採やそれに続く急速な都市化は、それまで森林の奥地に存在していたウイルスなどの病原体と人間が遭遇する機会となり、新しい感染症が発生する恐れがあります。

④「人と動物の共生社会作り」これは前回の記事でも述べましたが、伴侶動物を飼育することにより人の健康づくりや生活の質の向上に貢献していることが知られています。

⑤「家族やさまざまな動植物との関わりで保たれる健康作り」肉体だけではなく精神的・社会的にも満たされる健康維持のためには健全な環境が欠かせません。

⑥「環境と人と動物のより良い関係作り」健康を支える安心・安全な食と食育の推進が不可欠です。

そしてワンヘルスの実践のためには、医師や獣医師、研究者だけでなく、行政や企業、市民が一緒になり様々な課題の解決に取り組む必要があります。福岡県では2021年1月にすでにワンヘルス推進基本条約が施行され、ワンヘルスを推進する基盤が作られています。ワンヘルスの考え方は我々人類にとって極めて重要であり、我々埼玉県獣医師会でも推進していく必要があると思われます。(黎明)



日本獣医師会・獣医師会活動指針

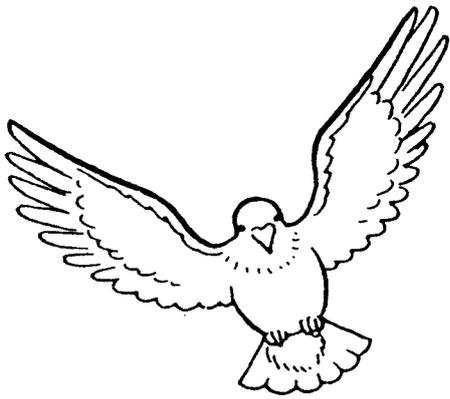
－ 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

彩の国



さいたま

